



ローカル認証および許可の設定

- [ローカル認証および許可の設定方法 \(1 ページ\)](#)
- [ローカル認証および許可のモニタリング \(3 ページ\)](#)

ローカル認証および許可の設定方法

スイッチのローカル認証および許可の設定

ローカルモードで AAA を実装するようにスイッチを設定すると、サーバーがなくても動作するように AAA を設定できます。この場合、スイッチは認証および許可の処理を行います。この設定ではアカウントिंग機能は使用できません。



(注) AAA 方式を使用して HTTP アクセスに対しスイッチのセキュリティを確保するには、**ip http authentication aaa** グローバル コンフィギュレーション コマンドでスイッチを設定する必要があります。AAA 認証を設定しても、AAA 方式を使用した HTTP アクセスに対しスイッチのセキュリティは確保しません。

ローカルモードで AAA を実装するようにスイッチを設定して、サーバーがなくても動作するように AAA を設定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **aaa new-model**
4. **aaa authentication login default local**
5. **aaa authorization exec default local**
6. **aaa authorization network default local**
7. **username name [privilege level] { password encryption-type password}**
8. **end**
9. **show running-config**

10. copy running-config startup-config

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： スイッチ> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： スイッチ# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	aaa new-model 例： スイッチ (config) # aaa new-model	AAA をイネーブルにします。
ステップ 4	aaa authentication login default local 例： スイッチ (config) # aaa authentication login default local	ローカル ユーザ名データベースを使用するログイン認証を設定します。 default キーワードにより、ローカルユーザデータベース認証がすべてのポートに適用されます。
ステップ 5	aaa authorization exec default local 例： スイッチ (config) # aaa authorization exec default local	ユーザの AAA 許可を設定し、ローカルデータベースを確認して、そのユーザに EXEC シェルの実行を許可します。
ステップ 6	aaa authorization network default local 例： スイッチ (config) # aaa authorization network default local	ネットワーク関連のすべてのサービス要求に対してユーザ AAA 許可を設定します。
ステップ 7	username name [privilege level] { password encryption-type password } 例：	ローカル データベースを入力し、ユーザ名ベースの認証システムを設定します。 ユーザごとにコマンドを繰り返し入力します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<pre>スイッチ(config)# username your_user_name privilege 1 password 7 secret567</pre>	<ul style="list-style-type: none"> • <i>name</i> には、ユーザー ID を1ワードで指定します。スペースと引用符は使用できません。 • (任意) <i>level</i> には、アクセス権を得たユーザーに設定する権限レベルを指定します。指定できる範囲は0～15です。レベル15では特権EXECモードでのアクセスが可能です。レベル0では、ユーザEXECモードでのアクセスとなります。 • <i>encryption-type</i> には、暗号化されていないパスワードが後ろに続く場合は0を、暗号化されたパスワードが後ろに続く場合は7を指定します。 • <i>password</i> には、ユーザーがスイッチにアクセスする場合に入力する必要があるパスワードを指定します。パスワードは1～25文字で、埋め込みスペースを使用でき、username コマンドの最後のオプションとして指定します。
ステップ 8	<pre>end 例： スイッチ(config)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 9	<pre>show running-config 例： スイッチ# show running-config</pre>	入力を確認します。
ステップ 10	<pre>copy running-config startup-config 例： スイッチ# copy running-config startup-config</pre>	(任意) コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。

ローカル認証および許可のモニタリング

ローカル認証および許可の設定を表示するには、**show running-config** 特権 EXEC コマンドを使用します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。